

ボツワナ共和国月報(2025年7月)

主な出来事

【内政】

- 水道公社、水道料金の支払い猶予キャンペーンの期間延長を発表
- 30社以上の国営企業がコンプライアンス違反
- ボコ大統領、TVET(技術職業教育訓練)会議2025を主催
- ボコ大統領、ボツワナ経済変革計画を発表
- 国民議会、医療保険基金法案を可決
- 国民議会、雇用労働関係法案を可決
- ボコ大統領、レソトからの水移送プロジェクトを促進
- ボツワナ国防軍、フィンランドでの軍事技能競技大会に参加
- BNF党大会、AP党大会
- 通信・イノベーション省、2025年科学週間の中止を発表
- チンボンビ国土・農業大臣死去
- 国民議会、OPECからの26億プラの支援を承認
- ハオラテ副大統領兼財務大臣、公共調達規制局の電子化促進
- 憲法の包括的改正及び憲法裁判所設置

【外政】

- ブタレ国際関係大臣、ベラルーシ訪問
- ボコ大統領、マラウィ訪問
- ブタレ国際関係大臣、赤道ギニア訪問
- ボコ大統領、レソト訪問
- ブタレ国際関係大臣、中国代表団と投資機会を協議

【SADC関連】

- SADC、エネルギー・水担当閣僚合同会議を実施
- 第27回SADC政治・防衛・安全保障閣僚委員会(MCO)の閣僚会議
- DRGがLCTTFA協定を批准
- 第8回SADC工業化週間を開会

【経済】

- インフレ率(2025年6月)―年間インフレ率2.0%に上昇―
- 国際商品貿易統計(2025年5月)
- 2025年第1四半期のGDP
- 政府債務が747億プ拉到達する見込み ―ボツワナ中央銀行
- サラカイ交通・インフラ大臣、モセツェ-カズングラ-リビングストン鉄道プロジェクトのMoUに署名
- 「ボツワナの労働力における女性の立ち後れ」 - 世界銀行

○ ボツワナ政府、資金難を受けて政府発注を一時停止

【大使館関連行事】

○ UNICEFを通じて保健省に栄養食品の引渡し

【内政】

○ 水道公社、水道料金の支払い猶予キャンペーンの期間延長を発表

2日、水道公社は、6月30日までとっていた水道未払い金猶予キャンペーンを7月18日まで延長すると発表した。これは水道料金の後払いから前払いへの移行措置。

○ 30社以上の国営企業がコンプライアンス違反

8日、ハオラテ副大統領兼財務大臣は、審査対象となった国営企業45社のうち、政府がコンプライアンスの義務を果たすために採択したキングⅢのガバナンス遵守が認められたのは14社にとどまることを明らかにした。

○ ボコ大統領、TVET(技術職業教育訓練)会議2025を主催

10日、ボコ大統領は変革的TVETをテーマとした会議を主催した。このイベントは、教育、産業、政府の主要なステークホルダーを招集し、若者の失業、スキルギャップに対処し、包括的な経済発展促進を目的としたもの。

○ ボコ大統領、ボツワナ経済変革計画を発表

14日、ボコ大統領は、国家開発計画(NDP)に代わる、ボツワナ経済変革計画(BETP)を発表した。この計画は、マレーシアのコンサルティング会社ペマンドウの支援を受け、計画の実施に焦点が当てられる。

○ 国民議会、医療保険基金法案を可決

14日、国民議会は、ハオラテ副大統領兼財務大臣が国民議会に提出していた医療保険基金法案を、第3読会で可決した。この法案は医療援助基金の財政健全性を高めることにより、医療保険基金加入者の保護を目的とするもの。

○ 国民議会、雇用労働関係法案を可決

国民議会は、モコワレ内務・労働大臣によって今次国民議会に提出されていた雇用労働関係法案を、委員会による修正を経て35票の賛成を得て可決した。これにより、労働者の団体交渉権の保障等労働者の権利保障が手厚くなる見通し。

○ ボコ大統領、レソトからの水移送プロジェクトを促進

16日、ボコ大統領は、レソト・ボツワナ越境水移送プロジェクトに関与するボツワナ・南ア・レソトの3者に対し、実施に向けた努力に参加するよう呼びかけた。このプロジェクトが実現すれば、ボツワナはロバツェのニワネダムに集水し、南部地域へ水を供給することを目指している。

○ボツワナ国防軍、フィンランドでの軍事技能競技大会に参加

ボツワナ国防軍(BDF)の兵士22名が、キサラ(フィンランド)で実施された軍事技能競技大会に参加した。この大会には18か国が参加し、アフリカからは南アとボツワナが参加した。

○BNF党大会、AP党大会

20日から、ボツワナ国民戦線(BNF)はパラペで中央委員会の委員選出のための党大会を実施し、党首にボコ大統領、副党首にモワサ大統領府担当大臣、議長にバンツィ氏、事務総長にモディセ保健大臣がそれぞれ選出された。副党首選では、副党首を務めるチンボンビ国土・農業大臣が出馬を見送り、モワサ大臣とラマオトワナ司法・矯正大臣が出馬していた。

同日程で、ハオラテ副大統領が党首を務める革新連合(AP)もセロウエで党大会を開催し、中央委員会の委員選出を実施したが、大きな混乱なく、党首は無投票でハオラテ副大統領の続投が決まり、その他要職も投票の結果続投となった。

○通信・イノベーション省、2025年科学週間の中止を発表

23日、通信・イノベーション省はシャカウエで予定していた2025年科学週間の開催を中止し、8月1日にオンラインで実施する旨、報道発表した。同省によると、この変更は予算の制約によるもの。

○チンボンビ国土・農業大臣死去

26日、チンボンビ国土・農業大臣死去が56歳で死去した。同大臣は、農業省で次官まで務めた。その後、BNFに所属し、2022年から副党首を務め、2024年の総選挙ではカラハリ南選挙区から国民議会議員に当選し、国土・農業大臣に任命されたが、任命直後から療養していた。

○国民議会、OPECからの26億プラの支援を承認

ハオラテ副大統領兼財務大臣は、先行する40億プラのアフリカ開発銀行との協調融資として、OPECからの推定26億プラのガバナンス及び経済強靱化支援プログラム(OPEC国際開発基金)ローンの承認を求める融資承認法案を国民議会に提出し、承認された。同副大統領によると、公的債務総額は2025年から2026年末までにボツワナ

GDPの34.64%強になる見通し。

○ ハオラテ副大統領兼財務大臣、公共調達規制局の電子化促進

ハオラテ副大統領兼財務大臣は、全国電子調達システム（NEPs）の導入によって、公共調達における汚職や遅延といった課題が解決され、調達の透明性が高まり、不当な価格のつり上げが抑制されると述べた。

○ 憲法の包括的改正及び憲法裁判所設置

29日、ボコ大統領はパラペで行われた「司法改革と説明責任を通じた人権の擁護」をテーマにした司法会議の公式開会式で、憲法の包括的改正及び憲法裁判所の新設に言及した。

同日、大統領から任命された憲法改正検討委員会の委員及び事務員に対し、約2万円～6万円相当の日当を支払ったことをモワサ大統領府担当大臣は明らかにした。

【外政】

○ ブタレ国際関係大臣、ベラルーシ訪問

2日、ブタレ国際関係大臣はベラルーシを訪問し、ルイジェンコフ・ベラルーシ外相と外相会談を実施した。会談では、農業、貿易、投資、科学技術、医療、教育といった分野での協力強化について議論が行われた。

○ ボコ大統領、マラウィ訪問

5日～7日、ボコ大統領はマラウィの独立61周年記念式典に出席するため、国賓としてリロングウェ（マラウィ）を訪問。同訪問中、チャクウェラ・マラウィ大統領と首脳会談を実施し、鉱業、農業、貿易、野生生物管理といった主要分野における貿易や協力強化の機会について、議論した。また、両大統領は「内水面漁業及び養殖開発」に関するMOUとボツワナ投資貿易センター（BITC）とマラウィ投資貿易センター（MITC）間のMOUの署名に立ち会った。

○ ブタレ国際関係大臣、赤道ギニア訪問

8日～11日、ブタレ国際関係大臣は第47回アフリカ連合（AU）執行理事会定例会合に参加するため、マラボ（赤道ギニア）を訪問した。

○ ボコ大統領、レソト訪問

15日から17日、ボコ大統領はマセル（レソト）を訪問し、レツィエ3世・レソト国王と会談し、ボツワナとレソト間の二国間関係の強化と協力促進について協議した。また、訪問中、同大統領はマテカネ・レソト首相を表敬訪問し、両者はブタレ国際関係大臣ムポ

ツウアネ・レソト国際関係大臣による二者間協力委員会協定の署名に立ち会った。

○ ブタレ国際関係大臣、中国代表团と投資機会を協議

30日、ブタレ国際関係大臣は、中国浙江省湖州市からの代表团と会談した。2025年6月に中国の長沙で開催された第4回中国・アフリカ経済貿易博覧会(CAETE)の場で、同大臣と中国ビジネスコミュニティのメンバーとの間で行われた議論をさらに発展させるもの。

【SADC関連】

○ SADC、エネルギー・水担当閣僚合同会議を実施

6月30日～7月4日、南部アフリカ開発共同体(SADC)はハラレ(ジンバブエ)にて水担当閣僚合同会議を開催。同会議では、エネルギーと水に関する協力強化に向けた進捗状況が確認された。また、同会議に先立ち、3日、グランド・インガ水力発電プロジェクト、コンゴ川送水構想及びスマート・クリーン・クッキング・イニシアチブに関するハイレベル対話も実施された。

○ 第27回SADC政治・防衛・安全保障閣僚委員会(MCO)の閣僚会議

24日～25日、SADCはダルエスサラーム(タンザニア)にて、第27回SADC政治・防衛・安全保障閣僚委員会(MCO)の閣僚会合を開催。地域の平和、安全保障及び発展を推進する決意を改めて表明した。また、ボツワナからはブタレ国際関係大臣及びモワサ大統領府担当大臣が出席した。

○ DRGがLCTTFA協定を批准

28日、コンゴ民主共和国(DRC)は、ロビト回廊交通輸送円滑化機関(LCTTFA)協定の批准書を、SADC事務局に正式に寄託。LCTTFAは、アンゴラ、DRC、及びザンビアの各国政府によって設立された三者間の政府間機関。大西洋と中央・南部アフリカの鉱物資源豊富な内陸部を結ぶ戦略的な複合一貫輸送ルートであるロビト回廊全体での交通輸送、貿易及び物流を円滑化することを目的とする。

○ 第8回SADC工業化週間を開会

29日、アンタナナリボ(マダガスカル)にて、第8回SADC工業化週間がラジョリナ・マダガスカル大統領によって開会された。第8回SADC工業化週間では、政府関係者、民間部門、開発パートナー、市民社会が集まり、工業化政策の実施、地域バリューチェーンの開発、インフラ、エネルギー転換、投資促進、規制の調整、アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)の下での貿易など、地域統合の主要分野について議論が行われる。また、同期間中には、SADC地域の貿易競争力向上、品質インフラの強化、アフリカ域内及び

アフリカ・EU間の貿易促進を目的として、SADC、EU、UNIDO、ITCにより、アフリカ貿易競争力・市場アクセス(ATCMA) SADCプログラムが開始された。

【経済】

○ インフレ率(2025年6月)―年間インフレ率2.0%に上昇―

6月の年間インフレ率は5月の1.9%から2.0%に上昇した。主な上昇要因は、食料・非アルコール飲料とその他商品・サービスがそれぞれ0.8%上昇したことによる。一方、輸送グループは-0.5%となった。全国消費者物価指数(CPI)は0.2%ポイント上昇した。

○ 国際商品貿易統計(2025年5月)

5月の輸入額は81.572億プラで4月の68.354億プラ(改定値)から19.3%増加した。品目別割合はダイヤモンド:19.1%、燃料:18.8%、食品・飲料・たばこ:15.6%、機械・電気機器:14.8%、化学・ゴム製品:9.3%、車両運搬具:6.8%となっている。輸入元は、南アが最も多く60.1%、続いてナミビアが11.7%、中国が4.8%、モザンビークが3.9%、米国が2.3%となっている。

また、同月の輸出額は70.821億プラで4月の87.359億プラ(改定値)から18.9%減少した。輸出総額のうちダイヤモンドが75.4%、銅が14.7%、機械・電気機器が3.4%を占めている。輸出先は、UAEが29.9%、ベルギーが21.5%、インドが18.9%、豪州が7.7%、中国が6.4%、南アが5.8%となっている。

輸送手段別では、輸入の66.8%が道路、輸出の76.1%が空路を経由している。また、341.899億プラ相当の商品が国内を通過し、その50%がカズングラ橋を経由しており、主要な通過品目は機械類:38.7%と銅製品:33.3%となっている。

ボツワナの同月の貿易収支は、2025年4月に記録された19.005億プラの貿易黒字から、5月には10.751億プラの貿易赤字に再び転じた。

○ 2025年第1四半期のGDP

2025年第1四半期における、2016年価格ベースでの実質国内総生産(GDP)は494.352億プラとなり、2024年第4四半期に記録された494.949億プラを0.3%下回ったが、2024年同期に記録された5.2%の縮小と比較すると著しい改善となった。

GDPの減少は主に、ダイヤモンド取引:-36.2%、水道・電力:-29.0%、鉱業・採石業:-7.7%、農業・林業・漁業:-3.4%、運輸・倉庫:-1.3%といった複数の主要産業におけるマイナス成長に起因した。当四半期における主な分野別寄与は、公共行政・国防:17.4%、鉱業・採石業:14.4%、卸売・小売業:12.1%、建設業:11.6%となっている。

○ 政府債務が747億プラに達する見込み ―ボツワナ中央銀行

ボツワナ銀行の2024年年次報告書によると、政府及び政府保証債務は、2025/26会計年度に747億プラに達すると予測されている。これは、2024/25会計年度の改定値686億プラから8.9%の増加である。この総額のうち、85.3%が政府保有債務であり、残りが政府保証債務である。国内債務は67.8%(506億プラ)を占めると予想され、保証を含む対外債務は32.2%(241億プラ)となる見込み。

全体の債務はGDPの25.6%に相当すると予測されており、法定上限である40%を大幅に下回っている。国内債務及び対外債務はそれぞれGDPの20%という上限内にある。これは、国内資金動員の強化、自国通貨債券市場の発展及び本国送還された退職年金基金の投資を重視する2024/25中期債務戦略と一致する。

2025/26会計年度の財政赤字は221億プラ、又はGDPの7.6%と予測されており、国内借入と対外借入の組み合わせによって資金が調達される予定。貿易面では、主要輸出品であるダイヤモンド輸出が世界的な需要の低迷と人工ダイヤモンドとの競争により、2024年には対前年比34.6%減の404億プラと大幅に減少した。

金と家畜牛の輸出もそれぞれ89.3%と19.3%と大幅に減少した。しかし、これらの減少は、銅とニッケル(44.4%増)、肉製品(29.4%増)、繊維製品(19.8%増)、その他の商品(増加率未詳)の増加によって部分的に相殺された。ダイヤモンドの輸入は集約活動により32.9%増の176億プラに達した。また、自動車、機械、繊維、食料の輸入も増加した。燃料輸入は、世界的な原油価格の下落により6.4%減少した。

○サラカイ交通・インフラ大臣、モセツェ-カズングラ-リビングストン鉄道プロジェクトのMoUに署名

ボコ大統領の海外投資家の誘致の取り組みに従い、サラカイ大臣は、ボツワナ政府を代表してトルコ企業のエキセン・グループと覚書(MoU)を締結した。

このMoUの目的は、計画されている二国間プロジェクトであるモセツェ-カズングラ-リビングストン(MKL)鉄道プロジェクトの適時な納入と実施を政府が達成するための枠組みを確立すること。

○「ボツワナの労働力における女性の立ち後れ」 - 世界銀行

世界銀行とボツワナ政府の報告書は、ボツワナの教育におけるジェンダー格差が解消されつつある一方で、労働市場では依然として大きな格差が存在することを示している。女性は高等教育で多数派だが、STEM分野では過小評価され、労働力参加率も男性より低い(2023年で女性63.4%、男性73.2%)。教育と労働市場のスキルミスマッチも問題である。女性の労働参加と収入の増加は、ボツワナの貧困削減に不可欠であると結論付けられている。

○ボツワナ政府、資金難を受けて政府発注を一時停止

ボツワナ政府は、ダイヤモンド収入の大幅な減少による政府の資金難を理由に、中央財務管理プラットフォームである政府会計予算システム(GABS)による政府購買発注許可書(GPO:ボツワナ政府機関が業者に対して発注・支払いの約束を行うための公文書)の発行を一時停止する。7月10日付の財務省の内部通達によると、この措置は2025年7月14日から年7月31日まで実施される。当該措置は、全ての省庁に影響を及ぼし、当該期間中はオンライン及び紙面によるGPOの発行が制限される。

【大使館関連行事】

○UNICEFを通じて保健省に栄養食品の引渡し

7月15日、進藤大使出席の下、UNICEFを通じて、子どもの急性栄養失調等を改

善する栄養改善食品キット(RUTF : Ready-to-Use Therapeutic Food)をモディセ保健大臣に正式に手渡した。栄養改善食品キットは、UNICEFを通じて受益者に提供され、地域コミュニティで、重度の急性栄養失調に苦しむ1,000人以上の子どもたちの治療に使用される。

(了)